

事務所 新潟市江南区沢海 2-16 〒950-0205 tel 025-282-7440 fax 025-282-7441

E-mail info@acl.com URL http://www.acl.or.jp

ヤンゴン連絡所 104, Kyaut Sein Patt Rd, Yadana Kyun Yeikthar North Okallapa, Yangon tel 95)9-2006259

2015年9月—2016年1月の活動報告

1、2015年9月 認定NPO申請

新潟市へ認定NPOの申請をいたし、各審査を11月までに受けました。
事務局の大山さんと会員の飯島さんがしっかり対応され、ほぼ必要な審査は通過しました。
2016年1月現在、近日認可受けられることを期待しながら待機しています。

2、2015年11月



「地球市民のための JICA 基金」を受けまして、ミャンマーの縫製教育支援事業のためのミシン 65 台寄贈計画に入りました。

これは 2011 年から支援している同事業が発展し、現地で教育箇所を拡大したいとの要望を受けて、全国 10 箇所の学校・訓練所に寄贈しました。(実際は 68 台購入できました)

写真は組合省・小規模工業庁の訓練施設に運んだミシン 6 台です。
ここでは指導者を対象にした訓練を予定しています。

3、新潟国際情報大学・情報文化部で1年生40名を対象にフェアトレードとソーシャルビジネスについて、理事長が講演しました

4、2016年1月 理事会・運営委員会開催し、ミャンマー政府との一村一品支援の MoU (覚書) と認定 NPO 団体が現実的になりましたので、それを受けてのもう一步上の組織への変化と今後半年の計画を討議し承認しました。

5、ミャンマー政府との一村一品支援の MoU (覚書) の締結と外務省への NGO 連携無償支援申請



木工と竹工芸、手織産業、蓮布、コットン、植林そして訓練技術移転の6つのプロジェクトをイワラジ、バゴ、シャン、マンガレー、ザガイン、ヤンゴンの6箇の管区にて実施してミャンマーの一村一品運動を支援して、地域振興、人材育成を目指す5年計画について、当 i-NGO アジアクラフトリンクとミャンマー政府・組合省・小規模企業庁との間で Memorandum of Understanding (略称 MoU, 覚書) を1月14日締結してきました。これによって外務省への NGO 連携無償支援や JICA への草の根支援を申請できる条件を得ました。最初にバゴ管区における木工産業支援についてのプロジェクトを申請予定です

6、上記5を受けてバゴ管区・マゼイン木工生産組合と具体的計画についての打ち合わせ



1月16日、組合役員6名と当方2名で打ち合わせをしました。最初に組合事務所建物を借用して当方の技術センターを設置し、そこで基礎技術開発や現地に有効な機械の利用・導入研究によって、品質向上と生産性向上をはかり、製品の付加価値を高めて、組合員の新規市場開拓を支援することや植林事業などにより地域産業の持続的発展を自主的に図ることを目標に協力して実施する計画を合意しました。MoU を締結し公式にかつ本格的にミャンマーでの活動を開始します。

A, ODAの申請

上記 MoU 締結を受けて、外務省 NGO 連携無償支援や JICA 草の根支援などの草の根活動に対する公的支援としての ODA（政府開発援助）を申請準備中です。最初に木工産業育成事業を外務省ルートで申請しまして、上記6のバゴーでの活動を軌道に載せます。そののち第2弾としてマンダレーでの手織り技術を使って市場に合わせた商品化支援事業を、今年秋を目処に JICA 草の根支援を申請します。2017年には複数の支援を受けて、財政面の安定と活動の活発化を図りたいと考えています。なお、この申請作業と事務管理業務はかなり複雑です。最初は専門家のアドバイスを受けて、やりながら覚えていく方針で考えています。

B, バゴーでの活動開始



バゴーの技術センター設置予定建物写真です。内部は機械を設置し、講習会を開くスペースがあります

今年4月位を目標に技術センター開設準備に入ります。

当方の活動のコンセプト、自立によって人材育成を図る具体化として、組合主導でヤンゴンからデザイナーを連れてきて、そのデザイン研究をするなどの自分たちの将来の計画を話し合っています。その為に、簡単な目標から初めて、ステップを踏んで、数年後の目標としてフェアトレード団体として国際認証を受けて組合から直接世界市場へ出荷できる体制を目指したいと考えています。その時には自立は当然として、世界ブランドも確立出来ていると夢をもっています。その為に常駐事務所をバゴーに設置する予定です。

C, 東京ギフトショーでの市場開拓

日本での市場開拓と当方の賛同者を目標に東京ギフトショーへの参加も16回目になりました。何も解らない事から出発して、今は私たち自身の自立のためにも大きな目標になっています。

C, ミャンマー展の開催

5月1日ー21日、北方文化博物館にてミャンマー展を計画しています。

今回はミャンマーの紹介講演会は2回目、医療を支援する会様との合同紹介展は8回目、ミャンマー工芸展は14回目を迎えます。下記の①のように今年は大きな飛躍の年になり、新潟の皆さまへ広く PR する機会としてミャンマー展を企画しました。会員、サポートの皆様の参加をお待ちしています。

① 5月15日（日曜日）ミャンマーでの市民活動共同講演会

ミャンマーの医療を支援する会の内藤名誉教授のご活躍により新潟大学の感染症研究所が今年3月にヤンゴンに開設され、また国立6大学医学部による医学支援も順調に成果を出されています。当方の活動とともに新潟の市民活動としての海外支援事例として広くアピールする機会を各種外部団体の後援を受けて開催します

② NPO アジアクラフトリンクとミャンマーの医療を支援する会合同での紹介展を開催します

場所：北方文化博物館・屋根裏ギャラリー・1F 期間 5/3-5/20

③ ミャンマー工芸展：ミャンマーでの一村一品開発支援で制作された品を紹介・販売します。

場所：第一会場 北方文化博物館・屋根裏ギャラリー・2F 期間 5/3-5/20

第二会場 北方文化博物館 西門広場 ショップ Sai 常設店

D,第8回 はえゆミャンマー展

弥彦のはえゆ様でのミャンマー展は8回目を迎えますが、当方が新潟で展示会を開催し紹介始めたきっかけは、当方の活動に賛助頂きこちらで最初に作品を展示していただいたことでした。

今回は5月25日ー6月5日の日程で開催いたします。

以上